

2025年5月29日

『映像'25 歪んだ正義～止まらぬ攻撃の先に～』について

毎日放送は、5月25日に『映像'25 歪んだ正義～止まらぬ攻撃の先に～』を放送しました。
この番組について、「捏造」「偏向報道」などとネット上で拡散されています。

当番組は、兵庫県の斎藤元彦知事への内部告発文書問題から端を発したデマや誹謗中傷の実情を取り上げました。

そのなかで斎藤知事が兵庫県内のスキー場を視察した際、スキーウェアをめぐる観光協会と知事側のやりとりを紹介しています。この箇所について、観光協会が27日、ホームページやXに「事実と異なる」とする文書を掲載しましたが、毎日放送は以下の通り取材に基づき適切な内容を報道しております。

【放送内容】

会長はおとし 2 月、知事側から視察のときに借りたスキーウェアを無償で提供してほしいと打診があったことを認め、『必要であれば購入してほしい』と返答したと話しました

この報道に対し、観光協会は以下2点について「事実と異なる」としています。

1. スキーウェアの「おねだり」について

【観光協会の文書】

当協会会長のA（文書では実名）がMBSの取材を受け「斎藤知事からスキーウェアのおねだりがあった。」と証言したとする事実と異なるものでした。

<MBSの見解>

協会会長は、スキーウェアの無償提供の打診があったとする一方で、「おねだり」ではなかったとしており、毎日放送も会長が「おねだり」と認識していなかったと理解しています。そのため、番組では「無償で提供してほしいと打診があった」と取材内容をそのまま報道しております。

（なお、番組では、県の第三者委員会が、知事の要望でスキーウェアの提供の打診があったことを認定し、報告書で「外形的に見て『おねだり』したと見られる可能性がある状況であったことは事実とみてしかるべきである」と記した箇所については報道しています。）

2. 「知事側」との表現について

【観光協会の文書】

取材には「帯同していた秘書課の職員からスキーウェア提供の打診があった。知事から直接おねだりをされたという事実はない。」と回答。

ドキュメンタリー（6分55秒頃）では、あたかも知事から直接おねだりがあったと認めた事になっており、齋藤知事と職員を合わせて【知事側】からおねだりがあった、と拡大解釈されている。

<MBSの見解>

会長は、秘書課からの問い合わせを受けた県民局の職員からスキーウェアの無償提供の打診があったとしています。兵庫県の秘書課の業務内容は「知事・副知事の秘書事務」とされています。また会長は、知事も必要であれば購入して欲しいと返答したとも証言しており、番組では「知事側から無償で提供してほしいと打診があった」と報道しました。協会が主張する「拡大解釈」ではないと考えます。

誤った情報があたかも事実のように拡散される状況こそ、当番組で問題視していたことです。今回の放送後、観光協会に対するSNSでの攻撃的な投稿や迷惑電話が多数確認されているとのことです。番組では観光協会や会長を批判する意図は一切ありません。

一方、MBSのディレクターに対しても誹謗中傷が寄せられています。不確かな情報をもとにしたネット上の攻撃などに対しては厳しい措置を講じていきたいと考えています。

『映像'25 歪んだ正義～止まらぬ攻撃の先に～』

<https://tver.jp/episodes/eptxrhx5ige>

以上